

学校教育自己診断・教職員アンケート『こんな堺支援にしたい』 集計結果

提出数=168

【A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらないZ:わからない】

I 教育活動に関するもの

No.	質問項目	A	B	C	D	Z
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	87	56	11	0	13
2	教育まとめ会議等で、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	46	71	18	0	33
3	児童・生徒の実態をふまえ、指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている。	84	68	3	0	13
4	学校は、教育活動全般について、児童・生徒や保護者の願いによく応えている。	64	74	16	0	14
5	自立活動の指導に当たっては、児童・生徒が興味をもって主体的に取り組めるよう工夫している。	78	67	6	0	17
6	道徳教育は、年間指導計画に基づき、継続して行っている。	43	76	18	1	30
7	年間の学習指導計画について、各部、学年、教科、学習グループでよく話し合っている。	70	62	15	0	21
8	各教科の備品や教材教具が適切に配置され、活用されている。	34	74	40	7	13
9	児童・生徒会の運営と活動が自主的にできるよう、担当者の支援が行われている。	62	68	9	0	29
10	生活指導において、家庭との連携ができている。	70	72	8	1	16
11	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒（生活）指導を行っている。	59	68	12	1	28
12	教育相談体制が整備されており、児童・生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	51	63	19	3	32
13	学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	69	69	13	3	14
14	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	59	52	11	0	46
15	教育活動において、児童・生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	64	69	14	1	20
16	児童・生徒の人権を尊重し、日常的教育活動を行っている。	85	65	7	0	11
17	近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設けている。	37	78	28	0	25
18	児童・生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	65	55	7	0	41
19	学校の諸活動において安全指導が徹底している。	67	72	12	2	15
20		75	67	10	1	15
21	児童・生徒の実態にあった学校給食が実施されている。	108	50	2	1	7

II 学校経営に関するもの

22	校長・准校長は職員のやる気の喚起等学校教育の推進にリーダーシップを発揮している。	40	66	32	14	15
23	校長・准校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	60	72	18	6	12
24	教職員は学校教育の推進に力を尽くしている。	85	67	7	0	9
25	職員会議をはじめ部会や学年会が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	51	72	24	7	14
26	校務分掌・各種委員会は学校の実態に応じて適切に配置されている。	43	74	27	3	21
27	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。	46	70	29	3	20
28	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	34	67	40	7	20
29	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができている。	55	76	18	3	16
30	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	60	79	11	2	16
31	学校予算は、ルールに基づき、適切に編成・執行されている。	48	70	18	2	30
32	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。	31	60	33	6	38
33	教育活動に必要な情報について、児童・生徒・保護者や地域への周知に努めている。	53	76	13	1	23
34	個人情報保護の観点から、児童・生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	76	70	7	0	15
35	教職員はPTA活動に積極的に参加している。	31	71	27	6	33
36	個別的教育支援計画、指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成している。	85	57	6	3	17
37	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。	69	68	10	2	19
38	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	45	73	21	5	24
39	教職員の自主的・自発的な研修の機会が設けられている。	54	70	22	5	17
40	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	46	75	20	3	24
41	公文書の収受、発送、保管に対する管理がなされている。	66	66	4	1	31
42	学校から保護者等にあって公文書を発行するに当たって、校長が決裁するシステムが整っている。	82	59	2	0	25

検討を要する項目（C+Dが20%以上 Zを除く全体数）

No.	質問項目	
8	各教科の備品や教材教具が適切に配置され、活用されている。	30.3%
22	校長・准校長は職員のやる気の喚起等学校教育の推進にリーダーシップを発揮している。	30.3%
25	職員会議をはじめ部会や学年会が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	20.1%
26	校務分掌・各種委員会は学校の実態に応じて適切に配置されている。	20.40%
27	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。	21.6%
28	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	31.8%
32	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。	30.0%
35	職員はPTA活動に積極的に参加している。	24.4%